



パック連通信

事務局：山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.123 2023年3月15日発行
全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

紙パックリサイクル促進キャンペーンを実施

2月4日、イオンモール座間のイベントスペースにて、紙パックリサイクル促進キャンペーンを実施しました。この企画には、座間市の共催をはじめイオンモール座間、コアレックス信栄（株）の協力をいただきました。

座間市は、ごみ減量対策としてミックスペーパーリサイクルに取り組んでおり、またイオンモール座間においても、フードコート紙ごみリサイクルを進めようとしています。そのため広く市民に啓発していきたいとのことで、パック連及びパックマーク促進協のキャンペーン企画に、ジョイントしていただきました。



紙パックリサイクル促進キャンペーン

牛乳パックで 手すきはがきづくり	クイズに 答えると トイレ ペーパーが もらえるよ	トイレ ペーパー レット巻 き体験 (先着300名)
---------------------	---------------------------------------	--

日時 **2月4日(土)**
10:00～13:00
14:00～16:00

場所 **イオンモール座間**
2F レストランコートアトリウム

牛乳パック6枚持参の先着100名様に
ティッシュ1箱差し上げます

主催 / 全国牛乳パックの再利用を考える連絡会
牛乳パック再利用マーク普及促進協議会
共催 / 座間市 協力 / イオンモール座間:コアレックス信栄株式会社

イオンモール座間は日産自動車工場跡地の試乗コースだった土地を利用して、2018年に開業した神奈川県内最大級の商業施設です。このイオンモール座間のオープンがきっかけとなったのか、2016年頃の座間市の人口推移予想では減少傾向となっていたのが、現在はむしろ増加に転じていて、座間市ではごみ減量対策が必至となっています。当会の今年度の活動として、牛乳パックリサイクルとパックマークの普及啓発キャンペーンを実施する場所を探していたところ、ミックスペーパーリサイクルを提案していたコアレックス信栄(株)を通じて座間市をご紹介いただきました。

1月初旬の座間市、イオンモール座間との打ち合わせで、事前にイオンモール座間のホームページや、店内掲示板にて告知をしていただけることになりました。早速にポスターデザインを提出し、その成果もあって10時開店と同時にキャンペーンを開始すると、すぐさま牛乳パック6枚を持参した親子連れが来場されました。せっかくなので手すきはがき作りやクイズにも参加いただき、世界で1枚のオリジナルはがきや、クイズで差し上げたトイレペーパーを手に満足げに帰られました。



その後も手すきはがき作り体験やクイズコーナーは、人が絶えることがありませんでした。特に家族連れの来場が目立ちましたが、下は2歳の未就学児からご年配の方たちまで、幅広い年齢層が紙漉きやクイズをしながら、牛乳パックリサイクルに理解を深められました。

まだ人が密になることを避けなければならない状況でしたが、紙漉きには100名近くの方が、クイズには160名の方が参加されました。

共催・ご協力いただいた座間市、イオンモール座間、コアレックス信栄(株)、そして当日運営をお手伝いいただいたサポーターの皆さま、山田洋治商店の加藤部長さんに感謝申し上げます。



手すきはがきづくりは初めてです！という方ばかりで、紙漉き体験は人気コーナーでしたが、それを上回る人気の座間市のゆるキャラ「ざまりん」！
ざまりんが現れると、子ども達が駆け寄り撮影会が始まりました。



おかげさまで今回のキャンペーン企画が好評で、早速次回に向けた打診をいただいております。

昨年講習会を実施した相模原市の担当の方からも、パック連さんの企画内容は充実していて安心して依頼することができる、「信頼と安心の証」のような評価をいただき、38年継続してきた活動に誇りを持つことができました。



再生紙製品と純パルプ製品のあてっこクイズ。触ってもらって、全く違いがないことを説明。クイズ参加者にはオリジナルトシペを贈呈



はがきの乾燥待ちの小さいお子さん、パック連プロデュースのDVDを熱心に観賞。



ひと目でわかる牛乳パックリサイクルほんとのなしを発行

2/4のイオンモール座間での紙パックリサイクルキャンペーンに合わせて、「牛乳パックリサイクルほんとのなし」の簡易版を発行し、会場にて配布いたしました。



学校や、町内会などの牛乳パックリサイクル活動やイベントを通じて広く配布するために作成したパンフレットで、FSC 認証を得ている用紙を使用しています。

会員の皆様、パックマーク使用メーカー様もぜひご活用ください。



（公財）古紙再生促進センター主催「紙リサイクルコンテスト」の最終審査作文の中から牛乳パックリサイクルに取り組む学校に、トイレトペーパーを贈りました。

パック連はこの紙リサイクルコンテストの第1回から、最終審査会の審査委員を務めさせていただいていますが、毎年牛乳パックリサイクルをテーマにした作文やポスターが多く寄せられています。

今回も、最終審査に残った作文、ポスターのうち1/3くらいは牛乳パックに触れていましたが、その中の松本市立芳川小学校、高松市立栗林小学校2校の生徒さん、静岡市立蒲原中学校の2名の生徒さんが、学校での「洗って開いて乾かす」というひと手間をかけた牛乳パックリサイクル活動を具体的に作文にしていました。

コロナの影響もありますが、手間がかかる、時間がない、アレルギーの子どもがいる等々の理由で学乳パックを廃棄している学校も多く、年々学乳パックの回収率が下がっていますが、この4名の生徒さんの作文には、リサイクルにしっかり取り組んでいる様子が書かれていて、読んでいて心強い限りで感銘を受けました。特に芳川小の生徒さんにおかれては金賞を受賞されて、今後受賞作品が各地の学校に紹介されることで、牛乳パックリサイクルへも関心が高まることを期待しています。

そこで感謝の気持ちを届けたく、各学校にオリジナルトイレトペーパー（1ケース100個入り）を贈ったところ、それぞれの担任の先生から、「感激しました。」「励みになります。」「リサイクル活動を頑張っていたので、こんな風に認めてもらえて今後自信が持てると思います。」など、ご丁寧な御礼のご連絡をいただきました。

栗林小学校では右写真のように、今年度最後のリサイクル活動で、沢山の牛乳パックを回収しています。その際先生の方からトイレトペーパーが送られてきたことを生徒さん達に伝えると拍手が起こったそうで、これからも活動を継続するお役にたてれば何より嬉しく思います。



紙リサイクルコンテスト表彰式に出席しました

3月4日、都内のホテルで行われた（公財）古紙再生促進センター主催の「紙リサイクルコンテスト」表彰式に出席しました。

文部科学大臣賞、作文・ポスター部門の金賞及び特別金賞受賞の小中学生8名が顔を揃えました。

上位受賞者は、インタビューにもしっかりと自分の考えを述べていて、その立派な姿に、列席の大人達は感心することしきりでした。



会員さん情報

神奈川県牛乳パックリサイクルを進める連絡会（神奈川パック連）の芦立会長が亡くなりました。

昨年11月に芦立さんが亡くなられたことを喪中はがきで知り、心よりお悔やみ申し上げます。

神奈川パック連会長の芦立正子さんは、牛乳パック再利用運動開始当初から長くかかわられ、前会長の山口定子さんと共に、神奈川県下の牛乳パックリサイクルシステム構築に尽力された方です。

第10回牛乳パックの再利用を考える全国大会（1996年神奈川大会）開催の時は、実行委員会の会計役を引き受け、県下自治体からの助成金集めに奔走されました。その資金集めの手腕は見事で、20回開催した全国大会の中で一番自治体からの後援、助成を取り付けた立役者でもありました。

2001年に韓国ソウル市で開催した「日韓牛乳パックリサイクル情報交流会」にも、日本の牛乳パックリサイクルを牽引するリーダーのお一人としてご参加下さいました。

また芦立さんの牛乳パック再利用運動のご功績の一つとして、当時難しいとされていた学乳パックリサイクルを横浜市内の学校で定着させたことが挙げられます。本来排出責任のある乳業者、牛乳パック製造メーカーがリサイクルに何の理解も示さなかった中、運動によって実績を上げ、神奈川県下の消費者団体や学校関係者からの信頼を集めリサイクルネットワークを築いた行動力に、改めて敬意を表しますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



訪韓の際の写真 左日韓牛乳パックリサイクル情報交流会、右から3番目、右写真は左から2番目が芦立さん

◎パック連通信は、ホームページにも掲載しています。画像などカラーで見ることができますのでホームページの方もご覧ください。

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.0554-22-3611

FAX.0554-56-9216

E-mail info@packren.org

ホームページ <http://www.packren.org>

〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10